



発行所
天理教網走大教会
布教部出版広報掛
〒093-0073
網走市北3条西6丁目
TEL 0152-43-2227
FAX 0152-44-2227

大教会長年頭挨拶

新年明けましておめでとございませう。

昨年中は大教会をはじめ、それぞれに繋がる教会へ、精一杯ご尽力を賜りましたこと心より御礼申し上げます。網走大教会に繋がる皆様の大きな真実のお陰をもちまして、三年千日二年目を無事に通らせて頂くことができました。真柱様は今年の年頭挨拶で、「誦達は全教の心が一つになる為に出したもので、皆が一手一つとなり適進する姿をもつて教祖にご安心頂き、お喜び頂きたい」とのお話を下さいました。年祭活動仕上げる年となるこの一年、網走大教会に繋がるものが一つとなって誦達の実動10万件の活動目標達成へそして心定め完遂へ向け、力一杯つとめさせて頂きましよう。本年もお力添えの程を何卒お願い申し上げます。



立教百八十八年 正月
網走大教会長 三幣 健志



大教会十二月月次祭

大教会12月の月次祭は、12日午前9時30分から大教会長祭主のもと、執行された。

大教会長は祭文で、親神様の御守護に御礼申し上げた後、「思い返せばこの一年、昨年同様教祖のひながたを目標に全教会心定め達成という活動方針を心から離すことなく各部内教会が、心定め完遂に繋がる動きを懸命に歩ませて頂き、大教会全体としては、ようばく一斉活動日を始め、

神殿講話



神殿講話全文

藤井 道恵 役員

引き続き修養科事前研修会に力を入れると共に、教人講習会の人の御守護を頂戴すべく、修養科事後研修会も開講させて頂きました。また大教会一斉活動日、教会長夫妻感話、よろこび日記、部内教会交流布教、ようばく誕生会等、年祭活動二年目に様々と旬の御用を与えて頂き、勇んで勤めさせて頂くことができました。」と奏上した。

文奏上で、大教会長様は「教祖のひながたを目標に全教会心定め達成」という活動方針を掲げ、親神様の陽気ぐらしを求める強い思召に応えさせて頂けるよう、我が事は後に回して、ぢばの声を第一に素直に受け取り実行へ移させて頂く所存でございます」と奏上されました。

又、大教会長様は祭典講話の中で誦達の中のひながたについて述べられました。

逸話篇 七「真心の御供」の中で御供について、教祖は何事にも見抜き見通しで人々の心遣いと行いは全てご承知であり、これは現在も同じであること、教祖は姿形は見えないだけで魂は生き通しであると述べられました。

づげになりました。教祖百四十年祭三年千日の二年目の始めから、大きな節をお見せ頂きました。

今年もあとわずかになりました。今年はお正月に能登の地震が起き、正月早々、災害の映像が流れ続け、日本中の方がテレビのニュースにくぎ

真柱様は年頭の挨拶の中で、この厳しいお仕込みに対してどの点をお知らせ下さっているのか、色々振り返り、気付いたところがあれば、改めて歩みを進めることが大事だと思いと述べられました。

網走大教会の春の大祭の祭

しかし、お母さんは高齢で、一人暮らしが難しくなり、教

会でも買い物や病院に連れて
いったり、お世話取りはさせ
て頂いていましたが、だんだ
んと外出もなくなり、とて
も心配な状態で困っており
ました。

そこで会長さんからお母さ
んと一緒に九月から修養科に
行ってほしいと言われました。
私は最初、共に修養科入る
ことが少し心配でしたが、会
長として長年教会で住み込み
さんをお預かりしていた多少
の経験もありましたし、年祭
中できつと神様が働いて下さ
ると思ってお受けしました。

しかし、いざ共に修養科に
入ってみるとそう簡単にはい
きません。八月下旬におぢば
に入り、慣れるまで三日程
息子さんが詰所にいてくれま
したが、落ち着かない状態が
続き、夜もきちんと寝ていな
い様子で、毎日夜中に詰所
中をうろろする有様でした。

息子さんが帰ってしまおうと、
不安と緊張から落ち着かな
い様子で不安定な状態が続
きました。面接も無事に終わ
り、修養科が始まると野村さんは、
今度は高熱が出てコロナに
なっていました。

修養科入学から次々と起こ
るハプニングに心が折れそう
になり、まさに見せられる私
が今何か心定めをさせて頂
かなければと思いました。つ
とめとさづけと聞かせて頂い
ておりますので、野村さんに
毎日おさづけを取り次がせて
頂くことと、十二下りのお願
いづとめの心定めをしました。

野村さんは四十度近く熱が
出て、教養掛の先生にも何
度もおさづけを取り次いで頂
きましたが、熱が下がらず一
晩中ついで、ようやく朝にな
って少し下がりました。不
思議に罹患したのは野村さん
だけでした。大変な難かつた
です。

二週間後ようやく修養科に
行けるようになりました。修
養科では彼女は体力がなく食
堂まで歩くのが大変で詰所
から車イスを借りていたので
が、ある日私が車イスを取
りにいった際に、野村さんが
いなくなったと聞きました。

どこに行ったか分からなく
なり、周りの人に聞いても分
かりません。時期は九月上旬
でとても暑い時期です。熱中
症になりどこかに倒れている
かもしれないと、色々心配に

なり修養科の先生や詰所の教
養掛の先生にも伝えました。
先生方はおぢばのあちこち
を探して下さいました。私は
まずは神殿に行き、教祖のと
ころにお詫びに行きました。

お世話取りを不足心でして
いたことをお詫びし、そして
これから何が起きても喜びに
変えることを教祖に心定めさ
せて頂きました。

神殿を出るとすぐに教養掛
の先生が見つかりましたと携
帯に電話を下さいました。教
祖がお導き下さったんだと思
います。

それからクラスの方々が
野村さんのことを気遣うよう
になってくれました。クラス
みんなで野村さんのことを助
けて下さるようになり大変あ
りがたかったです。

大教会お鏡餅つき

12月28日、午前9時から、
大教会長を芯に参拝し、お餅
つきを開始した。31日のお礼
づとめ、元旦祭に御供えする
お餅を真剣についてお鏡餅を
つくった。

引き続き11時から一般の
方々とお餅つきを開催。80代
の方から幼児まで大勢でお餅
をつき、昼食にはつきたての
お餅を皆で頂いた。またお帰
りの際に、お鏡餅とあんこ餅
をお土産に持って帰って頂い
た。

▼参加者大人28名 子供13名



業も聞いているかいけないか分
からないような様子で、別席
のお話も落ち着いて聞いてい
ない様子で、修養科の2カ月
目に担任の先生から「このま
まではおさづけを頂くのが難
しいかもしれない、所属の
会長さんと息子さんに伝えて
ほしい」と言われました。

ちょうど十月の秋の大祭に
帰って来たので、野村さんと
話合いをしてくれました。本
人に聞くと「せっかくなので修
養科に来ていたので頂きたい」と
言ってくれました。

それから、修養科の先生方
と詰所の先生が心をつくして
拝戴まで導いて下さいました。
又、奥様のお陰で土佐先生が
詰所まで来ておさづけを何
度も取り次いで下さり、この人
はなんて徳がある人なんだろ
うと思いました。

私も朝晩の神殿掃除のとき
に神殿の柱を拭きながら、ど
うか助けて下さいと何度もお
願いしました。その時この柱
にどれだけの多くの方が願
掛けて来たのかしらと感慨深
いものがありました。

詰所お鏡餅つき

12月25日、午前8時30分
から、本部元旦祭に御供えす
るお鏡餅をつかせて頂いた。関
西ようき会を中心とする多く
のきしん者が集まり、一年の
お礼を込めて、一生懸命つか
せて頂いた。



けでなく、人をお世話取りし
ながら通らせて頂く難しさを
色々勉強させて頂きました。
三期目の十一月、皆様のお
陰で無事におさづけを頂くこ
とができました。これも修養
科の皆様のお陰です。拝戴の
時には、先生方もクラスの皆
もとても喜んでくれました。
本人もとても嬉しそうにして
いました。

そして昨年の十一月二十七
日に無事修養科を修了させて
頂くことができました。あ
んなに最初は喜ばなかった野
村さんも、帰る前には「まだお
ぢばに居たい」と言ってく
れるようになりました。

無事教会に帰ることができ
、家族にも感謝され、野村さん
は現在、常呂の老人ホームに
入らせて頂き、息子さんは今
も熱心に教会の月次祭に参
拝に来てくれますし、年に何
回かはおぢばにも参拝してく
れ、色々つとめてくれていま
す。

十月の秋の大祭で真柱様は、
「今回の年祭の活動は、各直
属教会やそれぞれの教会で目
標を定めて成人の歩みを進め
ることとしたのです。年祭活
動で全教的にこの様なことを

大教会 元旦祭

立教188年の元旦祭は前日に
雪が降り除雪に追われたが、
当日は晴天のご守護を頂き、
元日の午前8時に執行された。
元旦祭では直轄信者、住み
込みで今年初めの座りづとめ、
12下りのおつとめが勇んでつ
とめられ、教祖に年始のご挨拶
をさせて頂き大教会長の挨拶
を受け祭典を終えた。

祭典終了後、集合写真を撮
り、年始の言葉としておふで
書きを頂戴し、食堂にてお節
やお雑煮を頂いた



するのは初めてのことであり
ます。
今は年祭の折り返しの時
でもあるので、この時に目標
の振り返りや見直しを行い、
改めて目標を見据えた上で着
実な歩みを進めようとした
のであります。
そして後半の活動に入った
ところで二度も能登の地に大
きな被害を受けたのであり
ます。これは、私達に年祭に
対する取り組みが思召にお
応えするには、まだまだとい
うことなどと思えます。」と
述べられました。

百四十年祭まであと一年と
なりました。論議の中でも一
れつ兄弟姉妹の自覚に基づく
考え方が今こそ求められて
いると教えられています。毎
日目に入るニュースでも世界
の中で争いが絶えません。
先月、月次祭の世話人先生
の祭典講話のなかで、年祭
まであと一年となり、それぞ
れの教会で定めた、目標を
実行するにあたり、教祖に
ご安心頂けるようまたお喜
び頂けるようつとめることが
大切であり、教祖はひなが
たの中、順序を通して物事



教祖140年祭



《辞令》
次の3名がおつとめ奉仕人に登用された。
◎ 武士分教会 村井 実
◎ 常呂分教会 藤井 直美
◎ 陽光分教会 桐谷 沙也加

新職務分担任発表
令和6(立教187)年12月12日、新しい職務分担任が大教会長より発表された。
年祭活動の仕上げの年に新たなメンバーでスタートを切らせて頂き、まずは教祖140年祭へ向かって、それぞれが各部各会で実動していただけるよう精一杯努めさせて頂きたい。

新職務分担任発表

職務分担任表

立教187(令和6年)12月12日

相談役	結城興衛	栗林リツ子								
理事会	新川正人	桐谷厚平	澤田忠和	三幣輝子						
役員会	結城和広	丸山一徳	大山雅人	細木善信		信者掛	瀬川定自			
	藤山重善	藤井道恵	三幣正志	瀬川定自		教務掛	三幣敦志			
	栗林徳正	三幣敦志				おつとめ研鑽掛	藤山重善			
准役員会	青山正博	齋藤芳徳	山崎葛代	小松篤志	桐谷善広	菅原明宏				
布教部	部長	結城和広	主任	永井康幸	(社友兼任)	副主任	藤井広志			
	次長	齋藤芳徳	出版広報掛	掛員	小松清三	藤山秀和	三幣昇子	澤田旬治		
	部員	藤井広志	啓発委員会	青山正博						
		清宮秀明		細木昇一						
祭事部	部長	藤山重善	神殿掛	主任	小松篤志	副主任	遠藤浩二			
	次長	小松篤志	女鳴物掛	主任	藤山真理					
				掛員	三幣美代子	瀬川祐子	栗林直美	菅原真弓		
			神饌掛	主任	新川千穂子	澤田佐知				
				主任	新川正美	菅原明宏	村井 実			
		主任		眞壁正教	副主任	小松清三				
会計部	部長	栗林徳正	部員	細木善信	三幣正志	齋藤芳徳	結城美和子	三幣有子		
	次長	桐谷善広								
育成部	部長	三幣正志	婦人会	支部長	主任	藤山真理				
	次長	菅原明宏		三幣順子	副主任	栗林直美				
	いちれつ会担当 (育成部長兼務)				副支部長	炊事掛	掛員	直 轄	小松亜弥子	
					結城美和子		眞壁香織	山本ますみ		
					齋藤里恵子		菅原真弓	佐々木瞳		
						客殿掛	主任	三幣美代子	新川千穂子	
							掛員	結城美和子	菅原真弓	
							齋藤里恵子	菅原真弓	藤井直美	
							大山泰子	藤井直美		
						客殿料理掛	主任	瀬川祐子		
掛員			三澤由美子				三幣有子			
清宮美香			小松亜弥子							
青年会	委員長	村井 実	副委員長	藤山隆三						
少年会	団 長	三幣敦志	副団長	菅原明宏						
学生担当委員会	委員長	桐谷善広	副委員長	佐々木重喜						
詰 所	主任	藤山重善	副主任	三幣敦志	食堂主任	齋藤里恵子				
会計監査	委員長	永井康幸	委 員	岩原 繁						
網走きょうだい会	委員長	眞壁正教	副委員長	新川正美	藤井広志	会 計	新川正美	栗林直美		
育 英 会	委員長	三幣正志	副委員長	三幣敦志	菅原明宏	会 計	桐谷善広			
						会計監査	清水知幸			
ようき会	会 長	瀬川定自	網走地区	委員長	細木昇一	副委員長	椎木恭子	藤山秀和		
	副会長	清水知幸		担当会長	新川正美					
		在原典俊	委員長	岩原 栄	副委員長	福田和彦				
		中島義博	担当会長	奥野直治						
				釧根地区	委員長	栗林正博	副委員長	澤田忠正	大場麻深	
					担当会長	菅原明宏				
					委員長	八重樫隆	副委員長	佐々木重喜	野村晃巧	
				札幌地区	担当会長	桐谷善広				
					委員長	三幣昇子	副委員長	服部弘美	渡辺千津	
					担当会長	齋藤芳徳				
				関東地区	委員長	徳永慎二				
					副委員長	前 和幸	青山勇太郎	齋藤明男		
担当会長					三幣敦志					

=あなたにもできる年祭活動=

天理教網走大教会

実動項目10万件を達成しよう!

来年、令和8年1月26日、教祖140年祭を迎えさせていただきます。あと1年となりました。日々お見守り下され、お育て下さるご存命の教祖に少しでもお喜び頂くには、人をたすけるおたすけ活動を多くのようぼくがつとめることです。

大教会では、真柱様より御発布頂いた「諭達第四号」にお示し頂く6つの実動項目を信者1人ひとりの方々にも活動して頂き、『年祭当日、おぢばへ帰ってきてこなくても、その日をうれしい心で迎えることができるように』との真柱様のお言葉を受け、決めました実動項目10万件を達成して、喜び心で年祭を迎えさせていただきます。

実動報告(カード)に活動した件数を記入頂き、所属教会にお届け下さい。1日1人で何件お書き頂いても結構です。各教会で、集まったカードは大教会で取りまとめて、毎月の月次祭にお供えさせて頂き、確認の印を押して、返却させていただきます。最終期日=令和8年1月12日

〈実動項目の具体例〉

1. 教会へ参拝=教会在住の方は、上級教会への参拝
2. ひのきしん=ゴミ拾いや掃除に限らず、日々神様に感謝の気持ちで行うすべての行動。
例えば、感謝の気持ちを持って、茶碗洗いをすること、など。
3. おさづけ取次
4. お願いづとめ=神様を祀っていても、おぢば方向に向かって、お願いづとめをさせて頂く場合を含む
5. 身近な人への声かけ=天理教の名を出さずとも、お道の教えを伝えようとその一端を話すことや、励ましの言葉をかけることなどを含む。
6. 子・孫への一言話し=具体的な教理や、神様への感謝の思いなどを伝えることなど。

〈年祭実動報告〉

月 日

教祖140年祭
教会名 _____ 氏名 _____

1,教会へ参拝	()
2,ひのきしん	()
3,おさづけ取次	()
4,お願いづとめ	()
5,身近な人へ声かけ	()
6,子・孫へ一言話し	()

*5番→身近な人へ神様の話を一言でもする
*6番→子・孫へ神様の話を一言でもする

※上記()内に回数を記入する 印

動 静

出直
▼誠央分教会所属・永井順子様は12月13日出直された。享年88歳。葬儀は12月22日みたまうつしが、翌23日告別式が厚木市斎場にて永井康幸・誠央分教会長斎主のもと執行された。

12月人のご守護

○中席者 (1名)
栗 沢 岩 崎 史 也

育英会寄付者

加賀谷和子様 (本部ひのき しん御礼)
若林 裕行様 (母一年祭)

大教会12月の動き

1日 役員会会議。縦の伝道日
7日 お話し食堂
9日 網走支部例会会場
10日 役員会会議

教祖140年祭 三年千日の活動方針

「教祖のひながたを目標に 全教会心定めの達成」

11日 教祖140年祭網走おたすけ委員会会議。育成部部会
12日 月次祭。役員会会議。連絡会。婦人会例会
13日 教会長夫妻練り合い
15日 縦の伝道日
17日 網走支部婦人会例会
18日 年末年始話し合い
19日 会長、年末信者まわり (20日まで)
21日 会長、札幌方面直轄信者まわり (22日まで)。こども会
23日 会長おぢばがえり。詰所23会
24日 会長、本部神殿奉仕つとめる
25日 五季御礼。詰所お鏡餅つき
26日 本部月次祭遙拝。会長、教区主事会出席
27日 結城和広役員、本部神殿奉仕つとめる。一年の御礼づとめ。藤山重善役員、本部

創刊700号を迎えて

この度の職務分担の変更に伴い、次号から新しい主任のもと月報が発行されます。700号というキリの良い数字で次にバトンを渡すことができ嬉しい限りです。これからも皆様に喜んで頂ける月報を目指していきますので楽しみにお待ち下さい!

28日 神殿奉仕つとめる
お鏡餅つき。お餅つき。年末年始話し合い
29日 年越し
30日 みそか会

立教187年 人のご守護 心定め

Table with 4 columns: 初席者, ようぼく, 修養科修了者, 教人. Results: 60名, 29名, 18名, 11名. 成果 (12月末現在): 13名, 7名, 9名, 1名.

立教187(令和6)年人のご守護成果表 (12月末現在)

Table with columns for church names and participation statistics (初席, 中席, ようぼく, 修卒, 教人, 婦参者).

12月 月次祭12/12(木)

Table with columns for participants (神職講話, 賛者, 指図方, 扨者, 祭主) and roles (祭員, 前, 後).